

会議録

会議の名称	平成29年度 第2回清須市男女共同参画推進懇話会
開催日時	平成30年2月26日（月） 午前10時～正午
開催場所	清須市役所北館 2階第1・第2会議室
会議概要	1 あいさつ 2 議題 議題1 男女共同参画の各課の取り組み状況等 について 3 その他
会議資料	会議次第 資料1 清須市男女共同参画プラン【施策体系図】 進捗状況 資料2 清須市共同参画男女プラン【数値目標】進 捗管理
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
欠席委員	和田委員、細谷委員、齋藤委員、渡邊委員
出席者（市）	齋藤教育長、寺井教育部長 人事秘書課、企画政策課、防災行政課 財政課、産業課、高齢福祉課、子育て支援課 健康推進課、学校教育課
事務局	（生涯学習課） 栗本課長、近藤主幹、林副主幹、岡田主任主査、 杉野森主査
会議の経過	1 あいさつ 齊藤教育長よりあいさつ 2 議題《意見の要旨》 議題 1 清須市男女共同参画の各課の取組について ○中島会長 それではただいまより議題に添って委員会を進めさせていただきます。 議題1の「男女共同参画の各課の取り組み状況等について」を事務局から説明をお願いいたします。

●事務局

男女共同参画の各課の取り組み状況等について説明。

○中島会長

基本目標1「人権の尊重と男女共同参画社会に向けての組織づくり」についてご質問はないでしょうか。

○原田委員

男女共同参画講演会などのアンケートから貴重な意見もいただきますが、こうした意見を反映できるような体制をつくっていきたい。意識改善は、急に変えるのはむずかしいので、少しずつ変えられたらと思う。

○中島会長

男女共同参画講演会の参加者が370人ということでしたが、男女比はわかりますか。

●事務局

半々ぐらいでした。

○中島会長

男女共同参画講演会だけでなく行事には、男女比を入れたほうがいい。男女比をみることで、男女の偏りがあるかどうか分かる。

○原田委員

男女だけでなく、あらゆる年代の人が参加できる講座等があったらいいと思う。

○中島会長

学校での名簿は、男女別になっていますか。

○柴田委員

男女別になっている。これは、教員が業務を遂行する上で、男女別のほうがやりやすいという意見が多いからである。また、保護者も、男女混合名簿だと、子どもを探しづらいという声もあった。名簿は、使う目的によって見やすいものが一番良いと思う。

○中島会長

名古屋市など男女混合の名簿になっている。それ以外にも混合名簿を使う市町が増えてきている。男女別名簿で、女の子を後にする必要があるのか。先生方の便宜上の問題もあるというが、名古屋市などあまり影響はないといっている。何でも女の子が後というのは、人権教育などで問題があるような気がする。

○横井委員

人権問題というと、いじめの問題もありますが、子どもたちに身近な問題として性差別を取り上げて、性差別がどうしていけないのか授業でやる必要があるのではないか。

○中島会長

義務教育レベルの教育要綱の中で男女共同参画という項目がでてこない。

○柴田委員

男女共同参画については、社会科の中にある。

○中島会長

教科として入っていても全体にはない。

○原田委員

10年くらい前に一度、男女混合名簿になったことがあったが、また元にもどってしまった。保護者の反対が理由だとするのなら、保護者に対して男女別の不自然さを教える必要がある。

○中島会長

保護者も男女共同参画について知らないことが多いので、まず保護者の意識を変えていく必要がある。

生理現象などに係るものは、男女に分ける必要があるが、それ以外のことは男女に分ける必要は無いと思う。男女で差別するのではなくすべての人が活躍できる環境をつくる必要がある。他に意見も無いようですので、基本目標2「政策・方針決定過程への男女共同参画の拡大について」に移ります。

○河合委員

女性の管理職登用について平成30年度は前年度と同様にするという目標としているが、まだ男女間にひらきがあると思うがどのように考えているか。

●人事秘書課

女性の管理職については、29年度は、前年度より比率としては増えている。30年度については、今年度を下回ることはないようにしたいと考えている。

○河合委員

了解。

○中島会長

審議会の委員で女性がゼロというのものもある。市民の半分以上が女性ですから、色々な意見を反映させる為にも女性の登用が望ましい。

育休についても女性が多いが、男性についてはどうか。また、時短勤務はどうなっているか。

●人事秘書課

今年度は、2名の男性職員が、育休を取得している。時短勤務は、女性職員が3名取得している。

○原田委員

保育士でも女性が多いが、少ないながら男性もいる。子育ても夫婦で行うということが必要と思う。昔と違って今の若い人は夫婦で子育てを行っているが、会社や働き方がそれにそぐわないので、男性の子育てへの参加が難しくなっている。男性も子育てに参加することで、子育てが充実する。

行事も、夫婦で参加してもらうことで、男性の視点と女性の視点が異なることが理解できる。

子どもの行事等にも参加するのは女性の方が多い。これをすぐに変えるのはむずかしいが、行政にもこうした、現状を知ってもらい改善できるものは、少しでも改善ができるようお願いしたい。

○中島会長

講座など男女の参加数などで偏るものもあるが、何か改善しているか。

●生涯学習課

現在の生涯学習講座は、女性の参加者が多い。そこで男性を増やす為に、男性が興味をもちやすい包丁研ぎ講座など始めたところ、多くの男性から申し込みがあった。今後も、男性が参加できる講座を考えたい。

○原田委員

庁舎のトイレにベビーベッドを設置するという項目があるが、利用者からどのような声があったのか。

●財政課

ベビーベッドの設置しているトイレの場所に対する問合せが多かった。そのため案内看板など設置して対応している。

○中島会長

男性トイレにもベビーベッドは設置してあるのか。

●財政課

男性トイレには設置していません。

○中島会長

男性トイレにも将来的に設置する予定はあるのか。

●財政課

今後の検討課題にします。

○中島会長

これからは、男性用のトイレにも設置したほうが良いと思う。

○原田委員

あれば、結構利用すると思う。

○中島会長

基本目標3「家庭や地域社会における男女共同参画の拡大について」高齢者などの地域活動についてはどうですか。

●高齢福祉課

老人クラブなど男性の参加を促している。

○中島会長

防災などで、女性の参加を促しているようだがどのような状況になっているのか。

●防災行政課

地域の防災講座で、女性の視点から見た防災意識が重要で、特に避難所などでは、女性しかわからない点もあり貴重な意見を聞くことができる。

○中島会長

基本目標4「男女がともに働きやすい就業環境の実現」について、商工会とタイアップしているようだが、どのような状況ですか。

○稲葉委員

商工会に加入している商店等だが、全体的に高齢化してきている。

○中島会長

どこの団体も若い人が集まらないということはある。

○稲葉委員

どの地域も新しい人が入ってこない。

○河合委員

商工会からは、色々なイベントで出店してもらうなど協力していただいているが、高齢者が多い。

○中島会長

商売など廃業することもあり若い人が少ない。

○河合委員

どの団体も高齢化している。若い人を集めないと活気がでない。

○稲葉委員

子ども会も参加者が少ない。

○河合委員

子ども会などは保護者が役員をやりたくないということから、子どもを入れたがらないという。

○横井委員

子ども会の役員は本当にやりたがらない。

○河合委員

P T Aの委員もやりたがらない。

○中島会長

働き方についてですが、男性従業員の多いところで女性を採用していくのに何か支援していますか。

●産業課

検討しています。

○中島会長

次回までに何か具体的なことを考えておいてください。

名古屋市商工会では、男女共同参画をどのように進めるか連絡協議会を作って有識者と企業関係者、組合とかが一堂に会してデータベースを作り、企業などに知らせている。こうしたことが人材確保にもつながると思う。

○稲葉委員

後継者のいない企業も多いと聞いている。

○中島会長

企業も役所も優秀な人材をいかに確保するかが大事だと思う。そのためにも人材育成にも力を入れる必要がある。次に基本目標5「福祉の充実と生涯にわたる心身の健康づくり」について高齢者の自立支援についてはどうか。

○河合委員

日本は長寿世界一といわれているが、それに伴い高齢者の認知症も多くなっている。

○横井委員

一人暮らしの状況だが、高齢者だけではなくなっている。

○中島会長

一人暮らしの中には障害者や外国人も増えている。今後はこうした問題も考える必要が出てくると思う。次に基本目標6「すべての暴力の根絶」に移ります。まず子どもへの虐待はどうなっているか。

●子育て支援課

DVについての相談はある。DV被害にあったら、逃げるか、保護施設に入るかというようなことが多い。保護施設に入る人は少ないが、その手前の人の相談はよくある。

○中島会長

デートDVについてはどうですか。

●子育て支援課

デートDVについては、そのような事実があれば、児童相談所に通報している。

○中島会長

デートDVに関して学校の授業でどのように取り扱っているか。

●齊藤教育長

学校では、人権週間などで、他人に対するおしつけは良くないという形で教えている。

○中島会長

デートDVとかそういう言葉を入れてよいのではないか。

○原田委員

男も女も平等だということを家庭も含めて教える必要がある。

○中島会長

学校だけでなく家庭での教育も必要だと考える。また、学校にはスクールカウンセラーの配置についてはどうか。

●齊藤教育長

毎日、常駐しているわけではないが各学校に一人ずつ配置している。

○中島会長

子どもの保護とかしているのか。

●齊藤教育長

問題があれば、児童相談所に通報して保護とかもしている。

○中島会長

全体をみて、今回の資料は大変見やすくなっている。施策の取り組みなど非常に具体的に書いてある。男女共同参画は、市の基本施策のひとつと考えられるし、多様な広がりを見せている。今後、男女共同参画プランの見直しもあるが、JKビジネスなど人権に係る幅広い取り組みが必要と思う。

3 その他

○中島会長

全体を通して何かございますか。

質問もないようですので、事務局にお返しします。

●事務局

長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。

これを持ちまして平成29年度第2回男女共同参画推進懇話会を終了させていただきます。

閉会（ 正午 閉会 ）

会 議 の 結 果	審議に関する事項はなし
問 い 合 わ せ 先	教育委員会生涯学習課 0 5 2 - 4 0 0 - 2 9 1 1 (清須市役所南館1階)